日赤ニュース

No. 40
2010年

発行日：平成22年1月
発行責任者：内田節夫
編集・発行：山田赤十字病院 広報委員会
伊勢市御薗町高向810番地
☎0596-28-2171（代表）
http://www.yamada.jrc.or.jp

理念

人道に基づき赤十字病院として
質の高い医療を提供します

基本方針

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救護や国際救護に貢献します
8. 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します

平成22年 年頭のごあいさつ

院長　村林紘二

地域医療完結型医療への転換

平成22年の年頭に当たり謹んでご挨拶申し上げます。当院では、「地域完結型医療への転換」をキャッチフレーズに掲げ、病院改革に取り組んでまいりましたが、皆様の御協力のお蔭で広く浸透し、結果を伴って参りました。本年度はこれまでのところ、紹介率が90%以上、逆紹介率が80%前後という高い値で推移しており、地域医療支援病院として健全に経過しています。皆様の御協力に対して心から厚く御礼申し上げますと共に、これからもこれまで以上の御協力を宜しくお願い申し上げます。この地域で当院が果たさなければならない急性期入院医療に関しては、新入院患者数が順調に増加し本年度の目標としていた、1ヶ月当り1,200名が達成されました。また外来患者数は減少を続けており、これも目標としていた1ヶ月当り20,000人に近づいて来ています。更に救急医療に関しては、以前からお願い申し上げている様に、一次救急は「かかりつけ医」もしくは「休日夜間応急診療所」を受診して頂くというルールが浸透した結果、1ヶ月当り1,000名程まで減少しました。ところが最近、伊勢地区外からの受診者が増えてきており、救急外来受診者総数は少しずつ増加傾向にあります。近隣の地域で医師不足により救急対応が出来なくなって来ているためで、今後もこの傾向は続くものと思われ、当院はこれまでより広域の医療をカバーしていく必要があると考えています。

地域医療の崩壊を防ぐ取り組み

全国的に勤務医不足が進んでいますが、お蔭さまで当院は少しずつではありますが、毎年医師数は増加しています。このため、三重県で最も勤務医数の少ない地域の一つである尾鷲総合病院に、当院から1名の医師を派遣しており、非常に高い評価を得ています。この様な医療連携により、地域の医療崩壊を防ぐ一助になればとの考えです。一方、派遣された医師は、医療過疎の実態を目の当たりにし、医療に取り組む姿勢を見つめなおすことにより、医師としての成長にとってかけがえの無い、貴重な経験をすることが出来ると考え、今後も可能な限り継続していく予定にしています。

新病院の広さは現病院の1.4倍 個室も増床

さて、当院では、新病院建設に向け準備して参りましたが、遂に昨年10月に着工致しました。建物は伊勢という土地柄に配慮して、五階建てと比較的低層と致しました。平成23年夏頃に竣工の予定で、現在のところ工事は順調に進んでいます。新病院は許可病床数が655床と現病院と同じですが、延べ床面積は現病院の1.4倍と広く、個室を多く（個室率は30%）しました。ケアに当る職員の就業環境にも最大限の配慮をしていますので、充分なサービスが提供出来るため、快適な入院生活を送って頂けるものと思います。また、移転を期に病院名も現状に即したものに変更する予定です。

本年も職員一同頑張りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

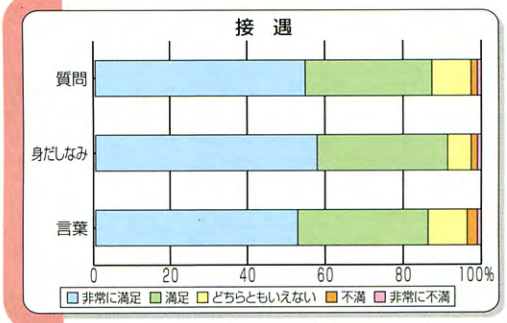
新病院の起工式にて

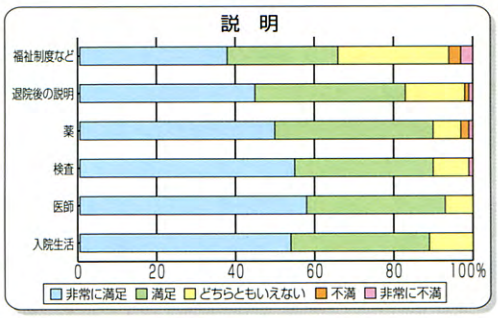
患者さん満足度アンケート調査のご報告

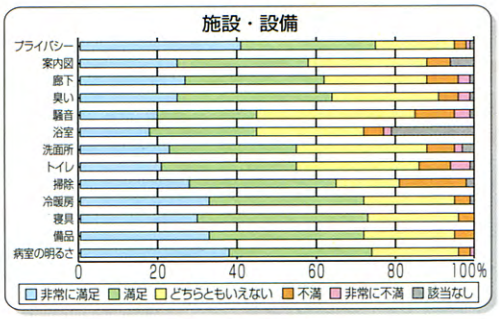
患者サービス向上委員会

毎年、多くの患者さんにご協力をいただき、本当にありがとうございます。平成21年度の結果を抜粋して報告いたします。調査は、外来患者さんには「外来患者さん待ち時間調査」を、入院患者さんには接遇、説明、施設・設備面についてアンケートを実施いたしました。

入院部門







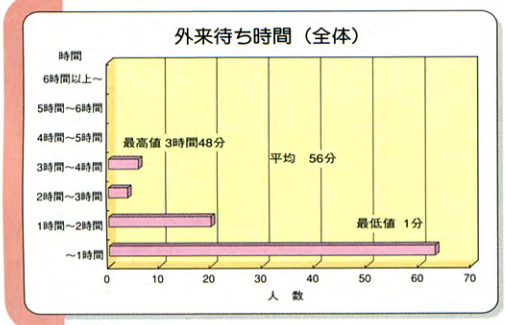
回収結果：521名の入院患者さんにご協力をいただきました（回収率81.2%）　実施期間：平成21年9月1日～30日の1ヶ月間

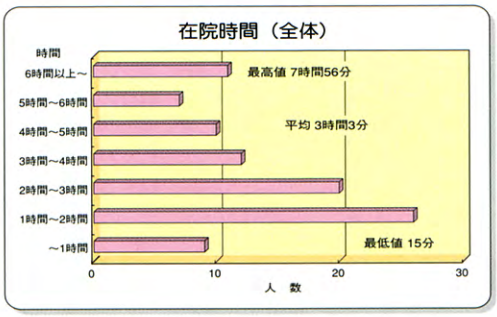
接遇全般については、90%以上の人が満足または非常に満足という結果でしたが、不満・非常に不満が1%ありました。「ちょっとした気遣い」で改善できるものと思われますので、ゼロに近くなるよう職員一同で努力してまいります。

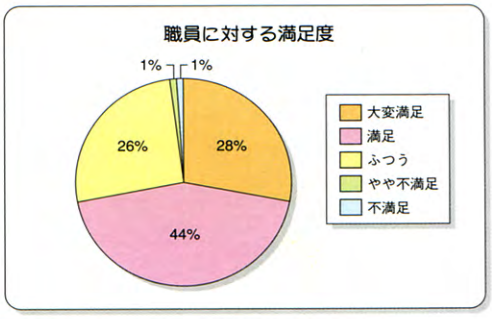
説明については福祉制度を除き80%以上が満足・非常に満足という結果でした。退院後の説明を含め福祉制度の説明に今後力を入れていくように努めてまいります。

施設・環境については全体的に接遇、説明の項目より満足・非常に満足の割合が低い結果となっています。これは現在の病院のハード面の問題もあり、なかなか改善の難しい面もあります。新病院の建築の際にはこれらのご意見を参考に改善してまいります。新病院への移転までも可能な限り改善に努めてまいりますが、ご不自由をかける点もあるかと思います。ご理解のほどお願いします。

外来部門







回収結果：104名の外来患者さんにご協力をいただきました（回収率96.2%）　実施期間：平成21年10月19日～23日の5日間

外来診察の待ち時間については平均56分という結果でした。昨年度より2分短縮されましたが、検査結果後の診察待ち時間が延長しています。病診連携推進の結果、多くの紹介患者があり、検査結果に時間が掛かっていることが原因と考えられます。待ち時間短縮に向け、今後も検証、改善していく必要があります。

また、患者から「その他お気づきの点」として、以下のように、貴重なご意見やご要望をいただきました。①受診を待っている時に、担当の医師が病棟の患者さんの様子が急変したということで席をはずされた。その説明が何もなくこちらから尋ねてわかった。こちらのことも考えて対応してほしい。②老人（90歳過ぎの）である者にとって長い間の待ち時間は体力的にきつい。病人すべてがそうであっても老人はさらに体力的に大変等です。しかし、改善点ばかりでなく、当院職員の業務態度や接客対応についての感謝のお言葉もいただきました。職員一同、以上のような、ご意見やご要望を謙虚に受け止め、患者の皆様に満足していただけるよう、よりよい医療の提供に尽力していきたいと思います。

患者サービス向上委員会では、患者さんに安心して治療・看護を受けていただける環境づくりを目指して活動しています。今回の調査に限らず、院内設置の「ご意見箱」にみなさまの貴重なご意見をお寄せ下さい。また、直接職員にお話し下さっても大変うれしいです。

技と美の競演！　世界新体操選手権大会

神経科部長　山﨑　正

第29回世界新体操選手権大会が9月伊勢の朝熊サンアリーナで開催されました。最終日の13日（日）、メディカルスタッフの一人として参加する幸運に恵まれました。

暗闇の中、「イ-」というピアニッシモの声が5人の選手の最後尾から聴こえ、静かに選手達が入場してきます。突然、「カーン」と鐘の音が会場を震わせる程の音響で鳴り響き、照明が煌々とステージを照らすと同時に激しいハードロック音楽が始まりました。演技の開始です。2分30秒間。感動を言葉で表現することは不可能です。生命の躍動が目の前で繰り広げられているのです。知らぬ間に涙が溢れている自分に気がついてあわてました。

練習時間を含めて朝の9時前から始まり終了は午後7時頃でしたが、あっという間の一日でした。メディカルスタッフの仕事としてはまずドーピングに抵触する薬物の参照からでした。大変厳しい制限リストにも溜息がでるほどでした。「イ-」母音が今も耳の奥で聞こえています。

平成21年度山田赤十字病院大規模災害救護訓練を実施

― 本部機能の強化を目指して ―

災害・防災対策委員長　東川正宗

昨年と同様に静岡県沖を震源とした東海地震が発災、伊勢市は震度6弱を記録し、市内に大規模な被害が起ったとの想定で、平成21年度大規模災害救護訓練が平成21年11月7日（土）に病院玄関前駐車場、エントランスホール周辺を主会場として行われました。

今回の訓練とこれまでの訓練との大きな違いは、全て準備された舞台で行う"大名訓練"でなく、参加者自身が能動的に動いて自分の仕事を探していくことを求めたことです。具体的には、トリアージ技術の向上に加えて以下の課題を設定しました。1）災害対策本部機能の強化、2）所属部署別の役割分担表に基づいた非常参集・登録訓練、3）資機材の常設、常備場所からの搬出、エリア設営訓練の三つです。特に災害対策本部機能の強化のために本部員・本部役員を対象に事前に①図上シミュレーション訓練講習会、②図上シミュレーションの開催を行いました。訓練当日は、非常参集・登録簿を改善し役割分担別の登録とすることで、参集者が自分で所属部署を確認できるようにし、資機材の常設・備蓄場所も同時に掲示して各グループで搬出するように設定しました。

今回の訓練も、決まったシナリオに従うのでなく経時的に想定される状況付与を行いましたが、昨年度と比較すると格段の進歩があり本部役員・本部員は付与された情報に対して慌てることなく的確に対応ができていました。

今回の訓練を通じて、ゲートコントロールの開始時期の決定、エリア設営開始時期の決定、救護班の派遣決定、病棟での情報記入訓練、傷病者役による訓練の限界、医師の災害医療技術の向上など今後の課題があがってきました。平成22年度はこれらの点を踏まえて研修、訓練計画を立てて行く予定です。今回の大規模災害救護訓練は日頃の研鑽結果を大規模災害救護の実践のなかでどのように生せるかを検証すると同時に、進歩するための"新たなる課題"を確認できた有意義な救護訓練となりました。

各教室ご案内（日時については変更する場合がありますのでご確認下さい）

肝臓病教室

3月2日（火）・5月18日（火）
【時　間】13:30～16:00
【場　所】山田赤十字病院 講堂
【参加費】100円
● 申込・問い合わせ：内科受付（内線）2250

糖尿病教室

2月12日（金）・3月12日（金）・4月16日（金）
【時　間】9:00～13:00
【場　所】山田赤十字病院 講堂
【参加費】500円
● 申込・問い合わせ：内科受付（内線）2250

※心臓病教室は現在、日程は未定となっております。　● 問い合わせ：循環器科受付（内線）2289